

限定配布 フォトガイドブック

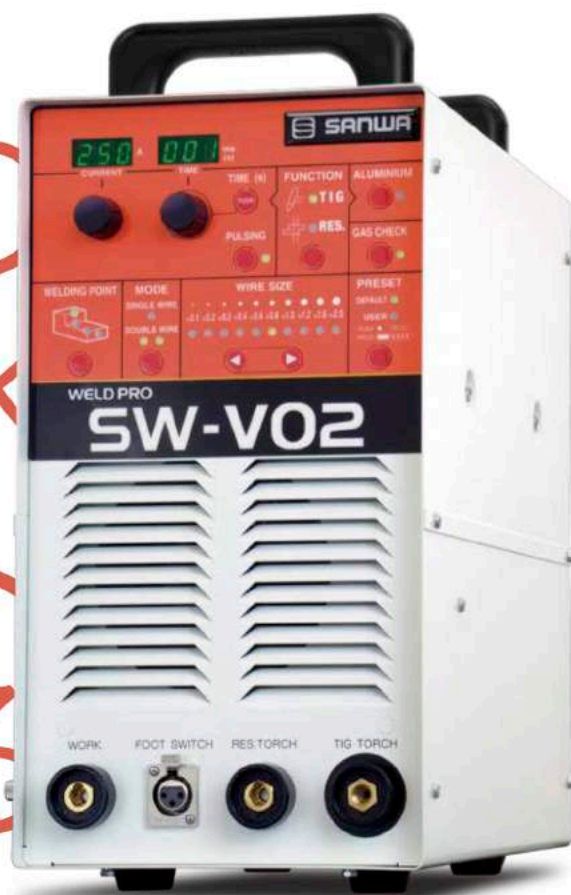
超高精度 肉盛溶接

を実現する 精密TIG溶接 × 抵抗溶接

技術と機材

ワークサンプル画像で知る

職人たちの 業界最高水準の シゴトを 伝承する



この一台の溶接機が持つ意味は大きい。ただただ「可能性」という言葉を追い求め、突き詰めてきた。産業界のプロたちが採用し、手放さない。20年にわたり、職人たちの業界最高水準のシゴトを支え、そして伝承してきたSWシリーズの歴史において、第4世代となるSW-V02は、ひとつの金字塔となるだろう。三和商工、唯一無二の溶接機の最新進化系を今、知る。



く
つ
あ
る
だ
る
う
か
。し

ミ
ニ
ト
は
ご
の
世
に
し

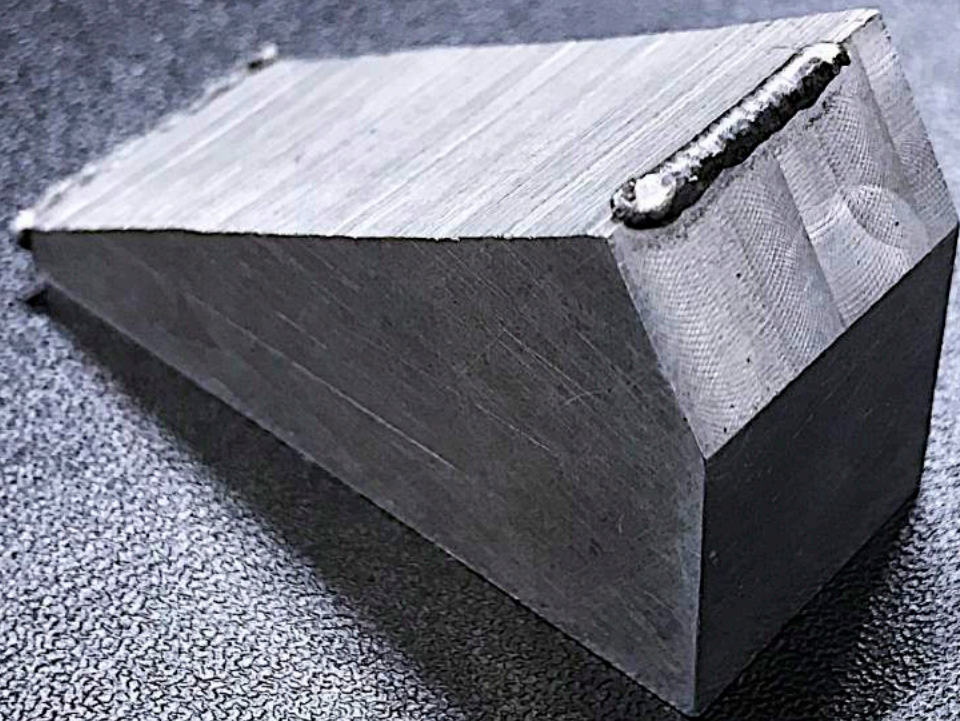
自分には
しか
か
で
き
な
い

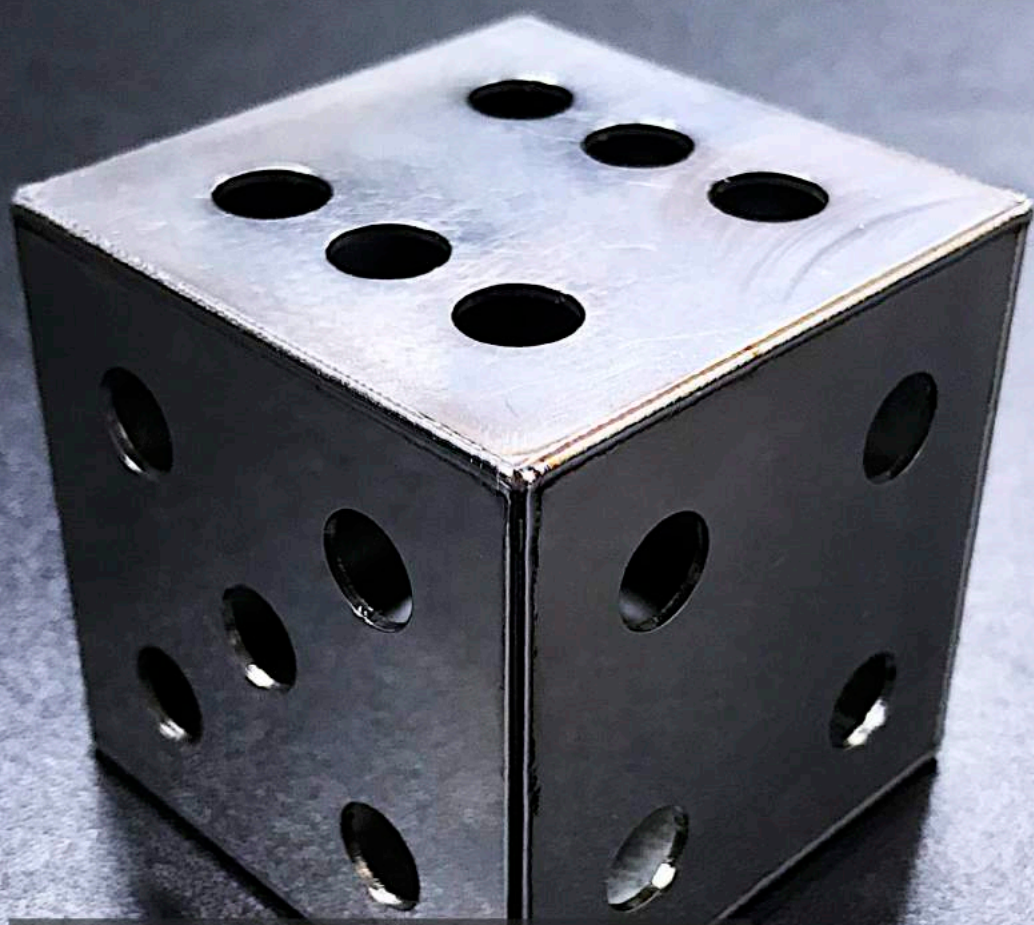
● 写真（左）スチール金型の補修

三和商工のSW-V02は、精密TIG溶接と抵抗溶接を組み合わせ、高度なセッティングを様々な「溶接モード」として標準搭載することで、これまで職人の技とされてきた溶接技術を確実に再現する。

● 写真（右）アルミ、二頂点での肉盛溶接例

さらに本機ではこれまで三和商工の担当者の実演デモによってのみ伝承されてきた“裏技”とも言える「直流でのアルミ溶接」を標準モードのひとつとして搭載した。実現困難とされてきた「アルミニウムモード」を新たに搭載することで、この一台でアルミ金型の補修までもが可能となった。





● 写真：歪みのないTIG溶接、二頂点と三頂点

2018年4月、東京ビッグサイトで開催された国際ウエルディングショーにおいて、三和商工のブースに足を止めた来場者は、言葉どおり「度肝」を抜かれていた。多くの来場者に驚きを与えたのは、ステンレス板を6枚つなぎ合わせた、このサイコロである。

融点と母材。精密溶接は、熱との闘いである。10ミクロンの歪みによって、「可能性」を失いうる環境において、SW-V02はレーザー溶接ではなく、TIG溶接によってこの加工サンプルを「可能」にした。

の「可能性」がある。次
与えられ
妥協を許さ
な
挑
戦
い
者
に

技術と機材の進化は
心を躍らす想像と無
限に広がる創造へ。



● 写真：直角に接合したステンレス板の奥隅の溶接

溶接のプロたちに「この機械が無かったらやっていけない」と言わしめたSW-V02。その超高精度のTIG溶接が採用される現場は、今も広がり続けている。

SWシリーズ20年の歴史が創り、重ねてきた「可能性」は、金型補修だけでなく、精密板金・部品加工における職人たちの技術のさらなる高品質化、高精度化に注目されている。

超高精度肉盛溶接機

WELD PRO SW-V02

仕様	抵抗溶接	TIG溶接
電源	単相 AC200 ~ 240V 50/60Hz	
定格入力	10.4 kVA (ピーク値)	2.8kVA (平均値)
最高無負荷電圧	—	約76V
出力電流範囲	30 ~ 750A	2 ~ 250A
溶接時間範囲	1 ~ 30ms	1 ~ 600ms
繰返し周期	400ms	0.1 ~ 2.0s
対応溶接棒径	φ0.1 ~ 2.0mm	
制御方式	インバーター制御	
冷却方式	強制空冷 (温度検知による保護回路有り)	
外形	W204 × D425 × H390 (mm)	
重量	23.8kg	



三和商工 SW-V02

🔍 詳細はWEBで検索

 三和商工株式会社 ×  aperza

